

第 10 回多可町就学前教育・保育検討委員会会議録

1 日時：平成 23 年 4 月 18 日(月)15:00～17:00

2 場所：八千代地域局 2 階第 1 会議室

3 出席者：

委員 鈴木委員、青山委員、上郡委員、有田委員、安平委員、清水谷委員
 西田委員、仲田委員、吉田委員、岡本委員、原委員、越川委員
 オブザーバー 中町幼稚園 伊藤園長
 事務局 教育長、藤本副課長、浦川

協議内容

- ・中町幼稚園の今後の在り方について
- ・中区の保育所・幼稚園の利用意向に関するアンケート等について

協議結果

- ・保護者のニーズを把握するためにアンケートを実施する。
- ・アンケートの内容について事務局案を修正。
- ・抽出調査でなく全数調査とする。
- ・中区の保育所・幼稚園の利用意向に関するアンケートは中区のみとする。
- ・園満足度調査も同時にとる。(中区以外は事務局で個別に詰める)

委員長	本日の協議事項に関連して中町幼稚園の伊藤園長に出席いただいている。 中町幼稚園の今後の在り方を協議するにあたり、中町幼稚園の現状について事務局から説明願いたい。
事務局	会議資料 P2,7～8 に基づき、中町幼稚園の現状を説明。 ・中区では 100%近い 5 歳児が幼稚園に入園している。 ・出生数は年々減っている。(平成 6 年度生-121 人 平成 17 年度生-76 人)
委員長	質疑応答をお願いしたい。
委員	資料 P8「平成 22 年幼稚園要覧」中、「沿革の概要」で「平成 18 年 9 月 23 日 給食室屋根設置工事」以降の記載がないが、何もやっていないのか。
事務局	その後、テラスの散水工事とエアコン設置工事が実施されたがここには掲載されていない。
委員	預かり保育の 指導員の人数、 保育時間、 利用児童人数は。
事務局	5 人の職員のシフトで 4 人体制、 教育時間終了(午後 2 時)から午後 7 時までだが、保護者のお仕事が終わった方から迎えに来ていただいている。土曜日や長期休暇などは午前 8 時から午後 7 時まで、 45 人の登録があるが毎日全員が出席しているわけではない。(参考：中町幼稚園園児数 73 人)
委員長	伊藤園長から中町幼稚園の現状と課題を説明願いたい。
園長	保護者の間から「中町幼稚園がなくなるのではないか」という話が耳に入ってくる。われわれの思いも含めて説明させていただきたい。 中町幼稚園は地域の中に息づきみんなに愛されている。

	<p>子どもの興味が続くのは、(幼稚園教育要領等にうたわれている) 4時間で、この4時間という教育時間を大切にしていきたい。</p> <p>幼稚園と家庭と地域の中での子どもの育ちを大切に、幼稚園の機能を残していきたい。子どもの教育だけでなく親も巻き込んで親育ても行い、地域と連携をとりたい。</p> <p>預かり保育について、親の仕事の都合上、どうしても預けなければいけない家庭もあるが、子どもにしたらすごく大変だと思う。</p> <p>幼稚園と保育所のそれぞれの機能を保護者が選べるようにしたい。PTAの中でも中区で幼稚園を残してほしいという声がある。</p> <p>中区で幼稚園機能と保育所機能を残していきたいという思いがある。子どもの成長を(現行の12か月よりも)36か月または24か月のスパンで見ることが出来る幼稚園または保育所であればよいと思う。</p> <p>(経常的な)預かり保育がなくなっても一時的な預かり保育はどうしても必要だと思う。</p>
委員長	質疑応答をお願いしたい。
委員	加美区と八千代区は3歳児から混籍となっているが、中町幼稚園も3歳児からがよいという思いか。それとも5歳児だけがよいか。
園長	3歳児からがよいと思う。全国的にも3歳児からが多い。5歳児のみは西脇など。少なくとも4歳児からの2年。保育所も地域に根付いているのだから、(3歳児から5歳児は)保護者が保育所と幼稚園の機能を選べばよいのではないか。
委員長	4歳児の就園はどうなっているのか。
園長	4歳児のほとんどが保育所に通っている。今年中町幼稚園に入園した児童のうち3人だけが4歳の時に保育所に入っていなかった。
委員	昔から保護者の認識としては5歳児は幼稚園に行き、その練習として保育所に行くという認識を持たれていた。保育園児のほぼ90%が4歳児でそれ以外はほとんどいなかったが、その後、家庭の状況が変わってきている。
事務局	第1回会議資料で年齢別就園率を掲載しているので参考にしていきたい。
園長	キッズランドやちよができてから、中区からも数名ずつ八千代幼稚園に入園する子がいる。
委員	子どもを育てるにあたって中区では幼稚園が5歳児しかない。保護者としては4歳児になったら子どもに集団生活をさせてやりたいが、保育所は長時間になるので、中区からキッズランドやちよを利用される方もいらっしゃるのではないか。
委員長	その辺りの保護者のニーズが分かればよいのではないか。アンケートについて事務局から説明願いたい。
事務局	会議資料P3~6に基づき、アンケートについて説明。

委員長	質疑応答をお願いしたい。
委員	設問4について、保護者としては前提として預かり保育の有無が関わってくる。預かり保育の有無に触れる必要がある。事務局案だと預かり保育があることが前提となる。
事務局	預かり保育がある場合とない場合に分ける。
委員	設問9の選択肢イは保育所でなく預かり保育ということか
事務局	預かり保育。町としては単独園の預かり保育を今すぐ廃止するわけではないので、現状を項目としている。
委員長	設問4と設問9は中町幼稚園を廃止するとの保護者の不安をかきたてるので選択肢を変えてはどうか。
委員	来年1年だけを考えるためのアンケートでなく、今後、中町幼稚園の廃止を検討するのであれば聞く方がよいのではないか。
委員長	中町幼稚園廃止ありきのアンケートでないことを明記しておくこと
委員	設問4は通園希望だから5歳児に聞くのはおかしい。4歳児以下と付け加えては？
委員	設問4は必要か。幼稚園があればこのまま続き、中町幼稚園がどのような形になればよいかという設問を持ってくればよいのではないか。
委員長	設問9を最初に持ってきて、(その回答を受けて)それならどうするかを聞くのがストレートだと思う。選択肢の順番は「現状のまま」を最初にする。事務局案では幼稚園廃止が「ア」(最初の選択肢)となっている。
委員	を と変え、(事務局案の)設問9、設問8、設問4、設問5...の順に変え、設問4の選択肢の並びもア(廃園)をエとし、イウエを繰り上げるということか。
委員長	その通り。
園長	「廃園」という言葉は必要か。そのような意見がある人は選択肢になくても自由記述で書いてくれるのではないか。
委員長	行政側に中町幼稚園を廃園にしたいという強い意向があるか。
委員	加美区でキッズランドとして保育所・幼稚園を統廃合した中で、それならば中区はどうかということがある。また、幼稚園が2～3年にならないかということもある。
委員	保育が必要な人は5歳になっても保育所を選ぶという選択肢がない。
委員長	アの選択肢は一番下にし、中町幼稚園を廃園とする場合はキッズランドかみまたはキッズランドやちよに入園することを明記すべきではないか。
事務局	中区の3つの保育所を認定子ども園とする選択肢は盛り込まなくてもよいか。
委員長	(経営主体が町と異なる)保育所が認定子ども園とするかまでは町として打ち出せない。もし、保育所が認定子ども園にされれば、5歳児がそこに行くという選択も可能となる。
委員	設問9のウの表現はどういうことか。
事務局	中町幼稚園を5歳児のみの幼保一体化施設にし、預かり保育をなくすということ。
委員	保護者は設問10にある5歳児の保育料軽減措置を最初に考えると思う。
委員長	現状(幼稚園と預かり保育)とキッズランド(注：ここでは「5歳児のみの幼保一体化施設」の意)の違いが分かるか。

委員	5歳児だけならば保護者には分からない。
事務局	所得税等の階層によっては保育料が安くなるが生じる。
委員長	<p>選択肢自体がいらぬように思うのだが。</p> <p>まず、幼稚園は現状の5歳児のみとするか、幼稚園を3歳児からとするかを選ぶ。次に、5歳児のみのままがよいならば、枝番として預かり保育と5歳のみ幼保一体化施設のいずれにするか、としてはどうか。</p> <p>たしかに、現行の保育料軽減措置があれば安く得だが、この制度が立ち行かなくなった場合に保育料が高くなる人がいる。</p> <p>こども園制度は東日本大震災の影響で国の審議がストップしている。あてにしていた子ども手当の現物支給が自治体においてこない可能性もある。保育料軽減措置を継続できない可能性があり、恒久的にあると思わない方がよい。</p>
事務局	保育料軽減措置はあくまでも2～3年の措置で10年としては財政的に厳しい。
委員長	<p>いずれにしても、2つの選択肢の差が分からないので、この設問としては選択肢を外して、もう1つの設問として問うてはどうか。</p> <p>また、保育料軽減措置は時限的であることを断ってほしい。</p>
委員	現場としても明記してほしい。幼稚園と保育所の選択に影響があり、キッズランドかみでは保育所への偏りが大きい。
委員	行政として幼稚園の保育料等は安すぎると思われないか。これだけの職員体制で今の料金体系を当然と思うのはおかしいと思う。
委員	教育と保育の違いだと思う。
委員長	この問題は(国による子ども園の制度設計が止まっているが、)こども園になれば解消する。財源に疑問があるが、制度ができれば。
委員	全数調査と抽出調査のいずれにするのか。
委員	満足度調査は中区のみの実施か。
事務局	当初は中区のみと考えていたが、それも協議いただきたい。
委員	「保育サービス」「教育サービス」など「サービス」という言葉が気になる。日本人としての感覚からすると違うと思う。子どもにこびていると捉えられかねない。
委員長	「サービス」と「保育」を切り分けては。メインは「保育」で一時保育などは「サービス」に当てはまると思う。
委員	設問22の「お泊まり保育の実施」は重要なことか。行事の1つに過ぎないので、もっと他のことを入れた方がよいのではないか。
園長	設問21と設問22の「おけいごと」とは。
委員	多可郡内の園では行っていないと思う。体育指導ならば行っているが、それも広い意味で「おけいごと」か。保護者のニーズとしてはあると思う。
園長	設問22の選択肢ケは「学童保育」とあるが。
事務局	「預かり保育」に修正。
委員	設問22の選択肢ア「平日保育時間の延長」には、朝の延長も含まれているか。
委員	設問3のみ「幼稚園教諭保育士さん」となっているが、他の設問では「先生」となっている

事務局	「先生」に統一。
委員	設問4は「保育所」に限定しているが、「園」とした方がよい。
委員	設問6(「先生同士で子どもの情報の共有化...」)は保護者に分かるか。
委員	分かると思う。朝、保護者が先生に言ったことが、他の先生に伝わっているかどうかなど。職員からしたら、もっと高いレベルのことを想定しているが、保護者からでは、これぐらいのレベルのことと捉えられるのではないか。
委員長	以上の確認。 ・設問21「ク おけいこ事...」 削除 ・設問22「保育サービスの」「園への」 ・設問22「ク お泊まり保育の実施」 削除
委員	設問21の「オ クラスだより」は行っておらず園だよりのみ。
委員長	「園からのおたより等」としてはどうか。
委員長	全数調査とするか、抽出調査とするか。
委員	自分の園で集計し、保護者の傾向をみたい。
園長	幼稚園では教育アンケートをとっている。
委員長	アンケートを目にすることによって保護者に課題意識を持っていただいた方がよいので全数調査の方がよい。(一同了承)
委員	満足度調査は親によってではなく、児童によって見るべき。「今後の在り方に関するアンケート」は(複数の園を利用の場合は)どちらかの園で提出していただければ。
園長	アンケートをとる時期によっても違う。1学期と3学期では全然違う。
委員	現状として実施する。
委員長	園満足度調査については、この委員会ではなく個別に(事務局で調整し、)詰めていただく。(了承) 全体に公表していただいて、全体の中でどこが強いかを比べていただく。
委員	加美区でも(園満足度調査を)使ってもよいか。
委員長	ぜひ、活用してほしい。
委員	八千代は独自にとっている。
事務局	事務局としてはこの検討委員会のこともあり早くアンケートをとりたい。できれば集計結果をお示ししたい。
委員長	まずは、自由記述でなく数字の部分だけでも出していただければよいと思う。次回はアンケートの結果をもとに将来的なことを決めていきたい。
事務局	(委員の選任の問題について)次回までにPTAの改選があると思うが。
委員	もうちょっとなら引き続き委員をしてもよいと思う。
委員	この検討委員会は8月までの予定なので、(各PTAで)今までの流れが分かる方がよいとの声があればそれ(継続)でもよい。(各PTAに一任する)
事務局	次回は5月24日(火)15時からキッズランドかみ会議室で実施する。
副委員長	これで第10回多可町就学前教育・保育検討委員会を終了する。